

[愛着ある苫小牧の景観づくりが、ここからスタートします]

## 都市景観の形成の理念

苫小牧市民が誇りをもって都市生活を送り、苫小牧市が今後とも成熟、発展していくためには、苫小牧が優れた都市景観をもち、市民が都市景観をよりどころにして苫小牧に愛着をはぐくむことが望されます。

### <基本理念>

- 愛着の育つ都市景観の形成と都市の持続的な成熟、発展
- 都市景観形成による都市環境の質的な充足
- 都市景観と都市整備の相互補完的な推進

### <基本目標>

樽前山の空と太平洋に映える、いきいきとした  
都市景観をつくる

この計画を進めるにあたり、基本方針「何を」「誰が」「どうやって」を明らかにします。

# 何を

- ① 苫小牧市の歴史、文化、諸活動の場となる「個性的な地区」と親しみやすい、うるおいのあるシンボル景観を大事にします。
- ② 都市活動、歴史文化、自然を「身近に体験、体感できる都市空間」となるような都市景観を大事にします。
- ③ 先人の活動や史跡、歴史的な眺望点を発掘し、「息づいている都市空間」となるような都市景観を大事にします。
- ④ 市街地の豊かな「自然景観資源やその眺望点」となるような都市景観を大事にします。

# 誰が

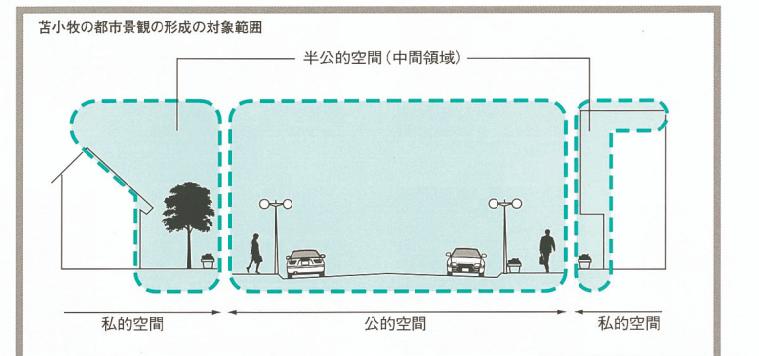
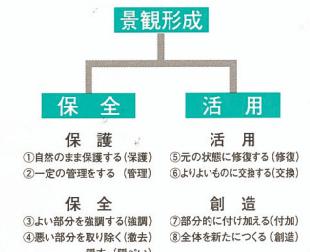
都市景観は市民共有の社会的財産であり、私的なものや、非物的なものも含まれています。都市景観の形成においては、市民、事業者、公共のすべてがその主体となります。市民は身近な立場で関わり、事業者は市民と一緒にして関わり、公共は先駆性をもって理念を具体化することが重要です。

# どう

都市景観の形成は、道路、公園、公共建築物などの公的空間と、庭、玄関まわり、外壁、屋根など、私的な空間と公的空間の間にあら半公的空間(中間領域)を対象とします。また方策としては、形成の内容、水準に応じて次の体系にもとづき適切にはかるものとします。



都市景観の形成の方法



# 苦小牧らしい

都市景観へ

しっかり見つめる。それが苦小牧らしい景観づくりの第一歩です。

苦小牧らしい都市景観をつくるためには、まず苦小牧しさを再発見し、それを上手に利用していくことが大事です。そのためにも現在の苦小牧を形づくってきた地理的な特徴や歴史、伝統などの要因をいま一度確かめながら、地域の個性や景観資源を体系的に見つけていきましょう。

自然を大事にする

苦小牧には、樽前山やウトナイ湖など恵まれた自然環境があります。また、雪が比較的小ないこと、夏には霧日が多いことなどの天候的な特徴もあります。これらの自然環境を、苦小牧を特徴づける素材として大事にしています。



樽前山

伝統、社会資産を大事にする

苦小牧は八王子千人同心の入植、王子製紙工場の進出、苦小牧港の開港など、さまざまなお出来事を経て発展してきました。このような苦小牧の歴史やその足跡をもがたる景観をいかし、歴史の息づく都市景観をはぐくみます。



八王子千人同心像

苦小牧らしさを利用する

市民に親しまれランドマークとなっている樽前山、フェリーターミナルなど苦小牧らしい都市景観をさらにいきすうよう景観形成に努めます。



製紙工場の煙突とナナカマド

暮らしのなかに息づいている都市景観を大事にする

たとえば駅前や街角の雑踏、競技場の喚声、者の思い出など、都市景観はさまざまなかたちで市民の記憶とむすびついています。このような記憶のなかの都市景観を再発見し、景観形成に利用することも大事です。



ハイランドスケートリンク

9

10



北大演習林



苦小牧港



ランドマークとなる樽前山



苦小牧駅前

# 暮らしに根ざした

都市景観へ

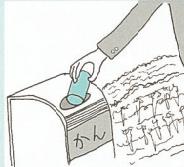
生活の視点から参加する。そこから暮らしに根ざした景観が生まれます。

人柄が顔に出るように、市民の意識の現れがまちの景観だともいえます。たとえば道路や建物を新しくても、そのままほおっておくと汚れたり色あせていきます。また時を経るとともに落ち着きや深みをます建物や素材もあります。都市景観の形成にあたっては、いまあるものを利用し、よりよいものへ「成熟」させていく視点が大事です。

市民の手による都市景観の形成例

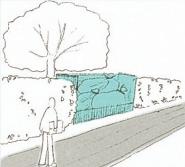
市民ワークショップの意見として、「まもる、育てる」景観づくりが多く出されました。また「きれいにする」「直す、修復する」「参加する」「演出する」といった暮らしに根ざした景観づくりが大事です。そのためにも市民ひとりひとりの意識づくりがなによりも重要だといえます。

[まもる、育てる]



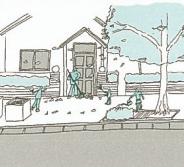
・市民のモラルの向上

[きれいにする]



・散らからないようゴミ問題を工夫する

[参加する]



・住民で自主的なルールをつくる

[演出する]



・中心市街地から海へつなぐ道や、海沿いの道の演出



・緑を守り育てる



・住宅地をふくむ水辺の清掃



・住民意見を反映させた公園計画



・フラワーポットなど店先の演出をする



・古くなった外壁や屋根を直す



[直す、修復する]



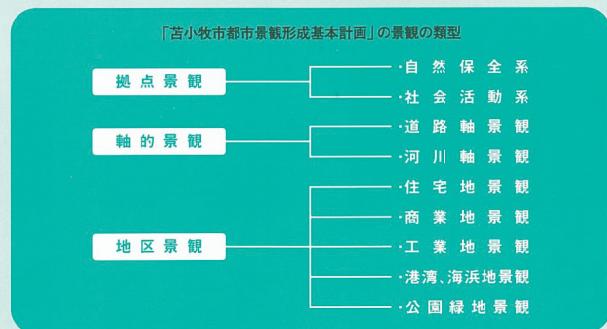
・壊れた柵などを修復する

# 身边的美しい 都市景観へ

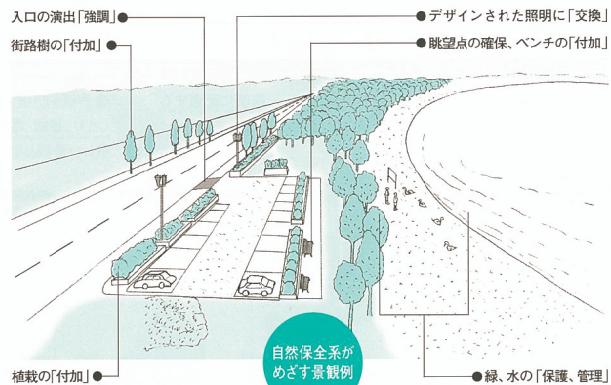
まちのいろんな表情をもっともっと素敵にしたい。

たとえば道路や港、商店街と住宅地ではめざすべき都市景観のあり方も当然ちがってきます。「苫小牧市都市景観形成基本計画」では、苫小牧の都市景観を大きく3つにわけ、それぞれの特徴や役割をしっかりと踏まえながら、将来の目標像を決めて具体的な方策をあげていきます。

11



豊かな緑や自然を大切に守りつづけること、工業や商業などの社会活動をしっかりとさえていくこと、この二つのテーマは、魅力ある苫小牧のまちづくりの大きな柱となるものです。苫小牧の都市景観づくりを進めるうえでも、これらのテーマをしっかりと取り入れていくことが大切といえるでしょう。

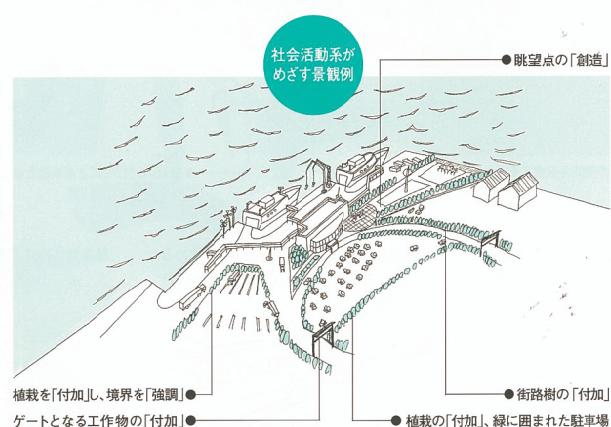


# 自

# 然

緑があって、活気があって、そんな苫小牧をめざしたいな。

拠点景観の形成方針<自然保全系・社会活動系>



# 社 会 公 共

12

**■眺望的景観の形成**  
拠点空間については、空、緑、水辺と調和した、雄大で安定感のある眺望系景観(パノラマ系景観)の形成に努めます。

**■自然と調和した都市景観**  
水と緑の自然資源を市街地の背景や地区の境界に軸状、帯状、格子状に配置し、空、緑、水辺が拠点空間と調和した、うるおいのある都市景観の形成に努めます。

**■境界の強調**  
拠点空間と自然域の接する部分については、その境界性を強調し、樹木、河川やその広がりを印象づけるような都市景観の形成に努めます。

**■自然のネットワーク**  
市街地内外の拠点空間は、交通動線や緑でネットワーク化し、活動的で交流のある都市景観の形成に努めます。

**■水と緑の保全**  
拠点空間の外周や背景となる自然域については、水と緑の環境を保全するとともに、防災の観点から地区的安全性を確保するよう努めます。